

研究協力をお願い

横浜市スポーツ医科学センターでは、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

| MRI の信号変化の定量化による 初期疲労骨折の改善度の評価とスポーツ復帰状況との相関 |
|---|
| 1. 研究の対象および研究対象期間 2015年1月1日から2023年12月31日の期間に、横浜市スポーツ医科学センターおよび東京慈恵会医科大学附属大学病院で、腰椎分離症、または中足骨、足根骨の初期疲労骨折と診断された方の中で、複数回、MRI検査を施行されていた方 |
| 2. 研究目的・方法 疲労骨折は、スポーツ動作などによる軽微な外力が繰り返し加わることで生じる骨折であり、頻度が高いスポーツ障害です。発症初期では単純X線像では異常を認めないことが多く、診断にはMRI検査が有用です。しかし、疲労骨折の改善度の評価、復帰時期の判断に際しては、身体所見のほか、MRIによる客観的評価が困難であり、これは、MRIの撮像条件を毎回、一定にすることが困難であるため、輝度変化の推移を客観的指標として使用できないことが要因であります。そこで、MRIでの信号変化を定量化し、これと症状の改善度や復帰状況との相関を調査することで、MRIを用いた客観的評価によってスポーツ復帰可能時期の評価を可能にすることを目的とします。 研究期間 2024年6月10日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。 |
| 3. 研究に用いる試料・情報の種類 診断名、性別、年齢、既往歴、スポーツ種目、身体所見、単純X線画像、MRI画像 |
| 4. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 |

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属: 横浜市スポーツ医科学センター整形外科 氏名: 村山雄輔

住所: 222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内

電話番号: 045-477-5050

研究責任者: 舟崎裕記 (東京慈恵会医科大学整形外科学講座)